

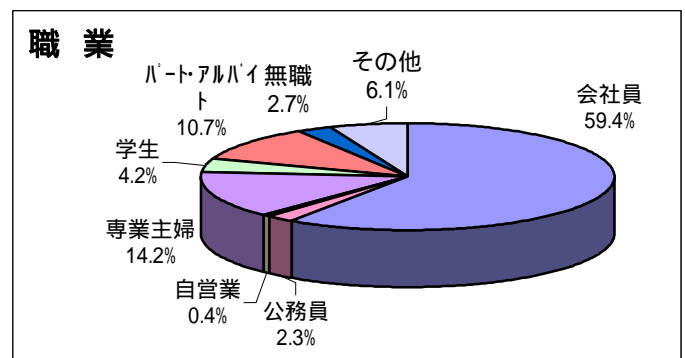
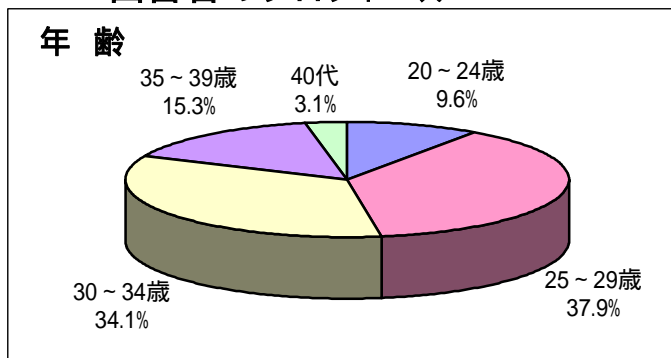
貯蓄と運用に関する調査

金融自由化により、例えば、銀行で証券投資信託が、証券会社では年金保険が購入できるようになるなど、金融機関の垣根も低くなってきました。また金融商品も多岐に渡っています。さらに、金利が低い現在、株をはじめとする資産運用への女性の関心も高まっているようです。

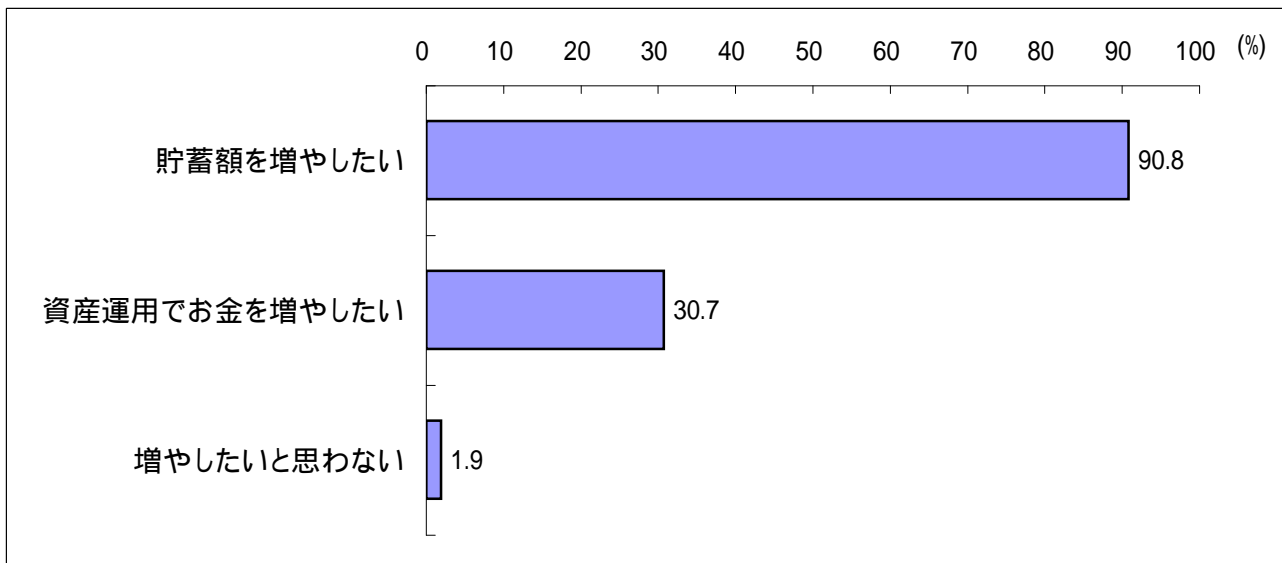
今回は、女性の貯蓄や運用に関する実態と意識を把握し、より一層、お金に対して意識を高めてもらうための指針を考える基礎資料とするために、調査を実施しました。

調査方法	インターネット調査(ウェブページにアクセスし、自記入)
調査期間	2005年11月16日～11月22日
調査対象者	LLIO会員(女性のみ)とそれ以外の20代30代女性のメール会員 岡山県在住者
サンプル数	有効回答:261件
調査機関	岡山情報文化研究所

回答者のプロフィール

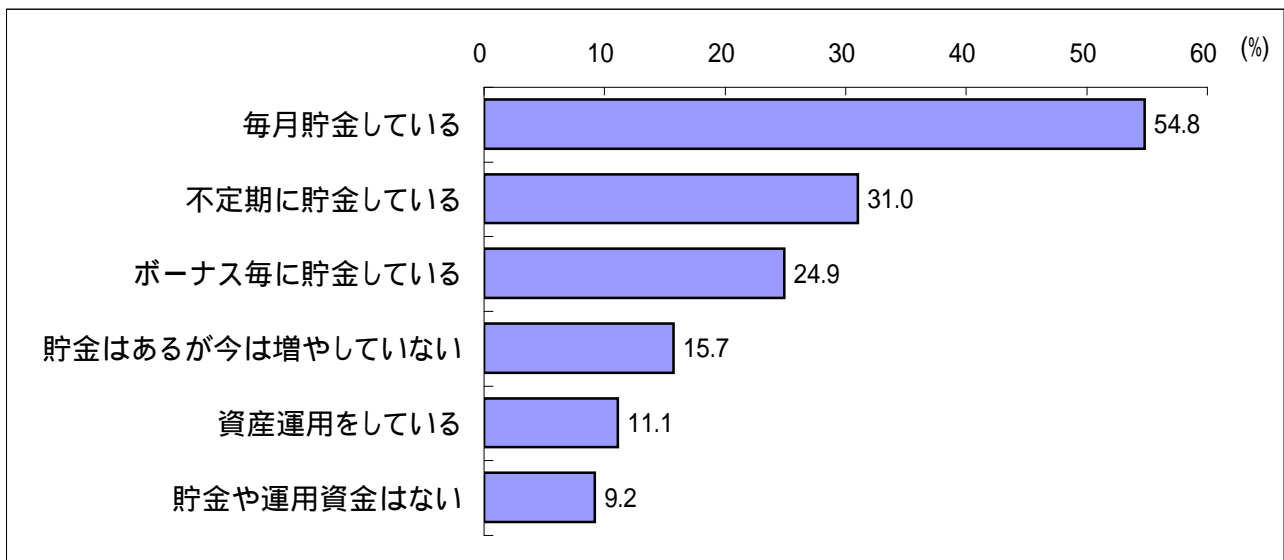


資産増の要望 (複数回答/全員)



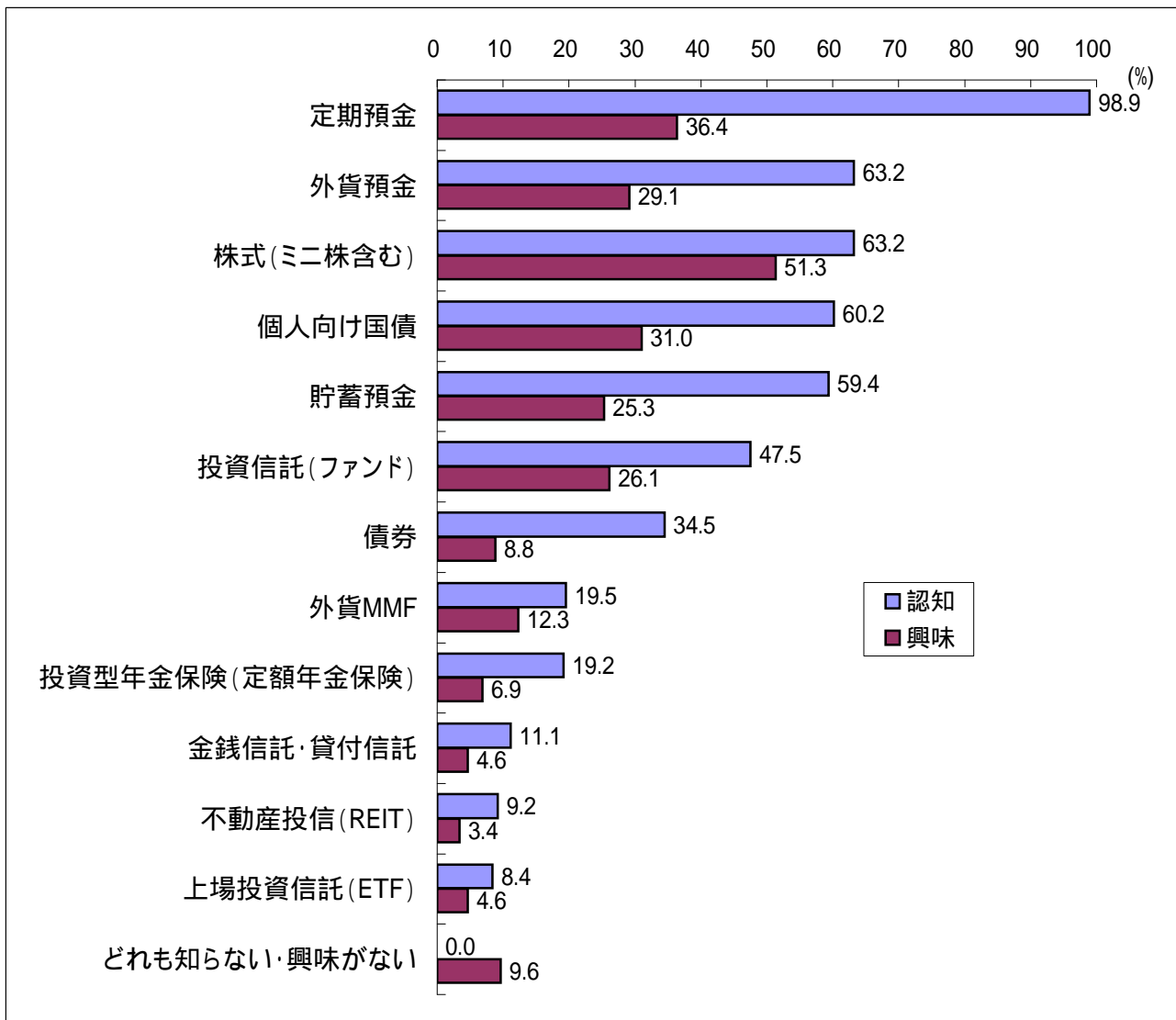
現在よりも自身の資産を増やすためには、「貯蓄」により増加させたいとの要望が90.8%。また、30.7%が資産運用で資産を増やしたいと思っている。

現在利用している金融商品 (複数回答/全員)



現在利用している金融商品だが、毎月定期的に貯金している人が54.8%と最も高い。また、ボーナス毎や不定期など、貯金を続けている人は多い。ただし、「資産運用」となると利用している人は11.1%にすぎず、まだまだ一般的とはいえないようだ。

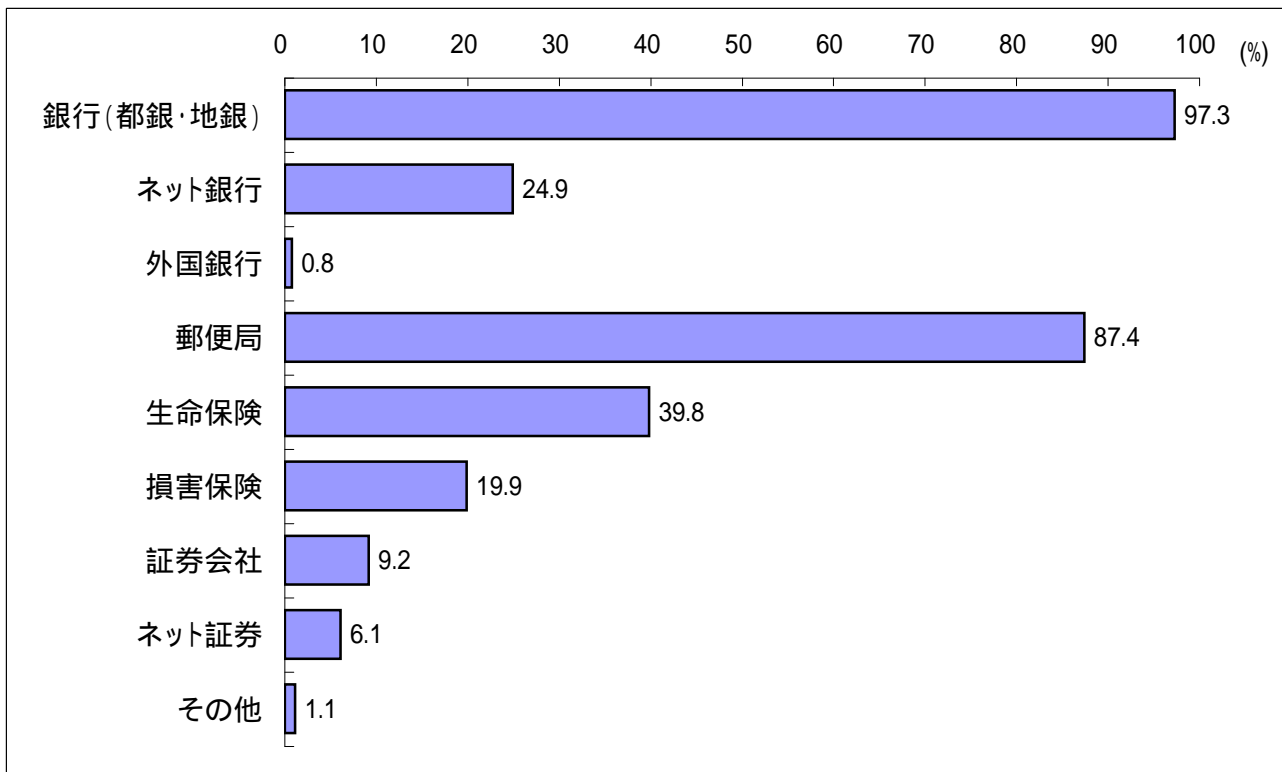
認知しているものと興味があるもの (複数回答/全員)



100%に近い認知率だったのが「定期預金」(98.9%)。次が63.2%で「外貨預金」と「株式」。また「個人向け国債」(60.2%)、「貯蓄預金」(59.4%)なども過半数の人が認知にしている。

最も興味が高いのが「株式」(51.3%)で、半数以上が関心を示した。ほぼ全員が知っていた「定期預金」への興味が36.4%と2番目に高い。また、「個人向け国債」(31.0%)、「外貨預金」(29.1%)、「投資信託」(26.1%)、「貯蓄預金」(25.3%)は、どれも25%以上の人に興味を持っている。

利用している金融機関 (複数回答/全員)



現在利用している金融機関は、「銀行」(97.3%)が最も高く、次が「郵便局」(87.4%)。この2つの金融機関が最も身近な存在と言えるだろう。3番目が「生命保険」(39.8%)。また、今回はパソコンユーザーに対して質問をしたため、「ネット銀行」(24.9%)が4位にランクインしたと考えられる。

「証券会社」(9.2%)、「ネット証券」(6.1%)を利用している人は1割にも満たない。